

# 私立 九州龍谷短期大学

取組名称 地域と連携したきめ細やかな就職支援体制の構築

取組担当者 学務課課長代理 藤戸 好浩

## 1. 本学の概要

九州龍谷短期大学は、浄土真宗本願寺派が西欧の学校制度をいち早く導入し、各地に設置した小教校のひとつとして、1878(明治11)年、佐賀市・願正寺内に設置された振風教校をその淵源としている。

本学の前身である佐賀龍谷短期大学は1952(昭和27)年に仏教科の単科短期大学として佐賀市水ヶ江に設置され、1954(昭和29)年に国文科、1955(昭和30)年に龍谷幼稚園教員養成所を開設し1962(昭和37)年4月に保育科へと昇格増設した。

1985(昭和60)年に佐賀市水ヶ江から現在地の鳥栖市に移転し、校名を九州龍谷短期大学と改めた。2002(平成14年)4月に、仏教学科と日本語・日本文化学科を改組転換し、人間コミュニティ学科を開設した。

現在の学科構成は、仏教コース、司書・情報コース、映像放送コースの3つのコースから構成している人間コミュニティ学科と保育学科の2学科制をとっており、191名の学生が学んでいる。

本学では、仏教精神を基本として高い教養を授けるとともに、職業に必要な専門の教育を施し、よき社会人を育成することを目的としており、本学の建学の精神(知恩・自律・内省・平和)を軸とした心の教育とアドバイザー制による少人数教育を行っている。

両学科とも教員と学生との距離が近く、教員が学生と向き合い、学生一人ひとりの状況に応じて指導を行っていることを特徴としている。



写真1 本学キャンパスを望む

## 2. 本取組の概要

短期大学においては、2年間という短い在学期間のため、学生は入学直後から、就職に対する意識を持つ必要がある。また、Webによる企業の求人方法への変化に伴い、登録や操作方法等で戸惑う学生も多いため、昨今の就職活動に即した指導を行う必要もある。そのため、就職専門員(産業カウンセラーやキャリアコンサルタントの有資格者または、企業での人事担当経験者)を招聘し、入学年次からの就職相談及びカウンセリングの実施を行い、早期に学生の意思を把握し、学生の就労意識の確立や就職後にミスマッチがないよう指導する。

更に本学の各コースごとの専門分野での採用企業開拓、地元企業と連携した就職説明会を開催するなど、きめ細やかな就職指導を行う。

同時に遠隔地からの学生にも対応するために、地域ハローワークや求人情報提供企業と連携した就職支援を行う。

## 3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

### (1) 本取組の趣旨

就職指導において、勤務経験や雇用経験のある専門の指導員に協力を依頼し、学生への就職相談やキャリアカウンセリングを実施することにより、就職に対する学生の目的意識を明確にし、就職後のミスマッチを防ぐとともに、学生の意思の把握を通じて、全教職員の就職支援態勢の強化を図る。

### (2) 本取組の目的

本補助事業の目的は、就職に対する学生の目的意識、及び学生の意思を把握するために、入学直後からの就職に関する意識調査を行うことにより、学生の希望する就職の達成と就職後のミスマッチを防ぐ。

また、地域組織及び人材を活用した就職のための講演会や、専門のキャリアカウンセラーを配置した学生

のためのカウンセリングや就職相談を開催することにより、学生に対するよりきめ細やかな就職支援体制の強化を図ることである。さらに、キャリアカウンセラーと教員とで会議を開催し、本学の学生にあった独自のガイドブックの作成を行う。

### (3) 達成目標

本取組では、入学直後に就職に関する意識調査と、それに基づいたキャリアカウンセリングを行い、その後指導員及び教職員によるきめ細やかな指導を行うことにより、就職率の向上と学生の希望する就職の達成と就職後の定着を図ることを目標とする。

## 4. 本取組の具体的内容・実施体制

### (1) 具体的内容

本取組の目標を達成するために、地域組織及び人材を活用し、専門の指導員を配置して学生の就職相談を行い、学生の意識を的確に把握することで、きめ細やかで、適切な学生指導を行う。更に、新たな就職先の開拓や学内での就職セミナーを開催する。

#### (i) 専門の相談員を配置・導入し、専任教員との連携によるキャリアカウンセリング体制の構築

本学では、専任教員によるアドバイザー制を実施している。就職支援においても、教員自らが学生達の指導を行うことを特徴としており、具体的には、教員・職員・学年アドバイザーの三者による個別のサポートを行っている。

更に、学外から専門のキャリアカウンセラーを配置し、個別キャリア相談・面談を行う体制を整えており、就職相談体制を強化し、個々の学生に対してきめ細やかな指導を行っている。さらに、学生の就職後のミスマッチを防ぐとともに、就職率を現在よりも向上させることを目指している。

キャリアカウンセラーによる進路ガイダンスも実施している。

#### (ii) 入学直後からの学生への就職意識調査の実施

4月の入学直後に学生の就職に関する意識についての調査を行い、学生の希望業種や職種を把握して、就職指導を行う際の基礎データとして活用している。

更に、キャリアカウンセリングを実施する上での客観的な基礎データとしても活用している。また、その調査結果を本学における就職指導のための取組の改善に反映させ、就職率向上を目指している。

#### (iii) Webによる求人方法に対応したセミナー並びに就職ガイダンスや講演会の実施

昨今、インターネットを用いたエントリー方式が主流となり、昔ながらの紙媒体での求人票を活用している企業は少なくなっている。地方の企業においてもインターネットによるエントリー方式に移行しており、紙媒体での求人票をいただける企業そのものが減少している。エントリー方式については、主に4年制大学生向けであるが、短期大学の学生がこの方式で応募するのは不慣れである。

これらの状況に対応するため、インターネットによる求人方法に対応したセミナーを実施し(写真2)、ネットによる求人の応募についても学生が積極的にエントリーすることができるように指導を行っている。

さらに今回、進路相談室にパソコンを新たに2台導入し、学生がインターネット上で就職支援サイトや企業のホームページからエントリーしやすい環境を整えるため、すべての学生に対し、個々のメールアドレスを配付し、本学ホームページよりメールチェックできるようにWebメール機能を本学ホームページ内に追加した。

これにより、インターネットでの企業情報収集やエントリー等、学生がいつでも就職活動に利用できる体制が整っている。

主催 九州龍谷短期大学 進路対策委員会

対象 2年生

就職情報サイト活用講座

4月26日(月)  
12:45~14:15

場所：本学 1F パソコン演習室

講師：株式会社 毎日コミュニケーションズ  
就職情報事業本部 キャリアサポート課 香田祐介

申込：予約の必要はありません。  
当日会場にお越し下さい。

就職活動において、インターネットでの企業の情報収集は欠かせません。また、この講座で就職活動に必要な事をしっかり伝えていきます！

★講習会の内容

- ◎企業の探し方・研究方法
- ◎企業への応募方法
- ◎自分を知る！適職診断の受験
- ◎今後の就職活動の進め方

写真2 就職情報サイト活用講座開催チラシ

学生自身の就職意識や目的意識の向上を図るため、就職ガイダンスや講演会等を随時行っている。キャリアカウンセラーによるガイダンスでは、学生が自分の就職活動の指針・興味・能力・価値観を見出すための自己分析や学生本人の希望する業界や企業について、情報収集の方法を指導している。(写真3)

また、地域のジョブカフェや地元企業の方、本学OB等を招いて講演会を開いている。(写真4)

さらに、これら講演会に出席できなかった学生のために、講演会やガイダンス等を映像で記録し、希望する学生が視聴できる体制を整えている。



写真3 カウンセラーによる進路ガイダンス



写真4 本学OBを招いての講演会

また7月には、保護者を対象に外部講師を招聘し、現在の雇用情勢や家庭における就職支援についての講演会を行った。(写真5)

具体的には、最近の厳しい雇用情勢と就職活動という環境の中で、親としてどのような支援が必要か、どのような理解が必要かという内容である。受験を繰り返すものの内定を勝ち取れない学生もいる。そのため、最も身近な相談相手として、家庭でのサポートの重要性を理解してもらい、家庭において学生に対しどのような支援を行ったらよいかについての講演を行った。その後、学科別に担当アドバイザーと学生保護者との

個別面談も実施した。



写真5 保護者を対象にした講演会

#### (iv) 就職支援ガイドブック制作

昨年度までは、市販の就職ガイドブックを購入し、学生に配付していた。しかしながら、本学には地味な面もあり、また就職試験の内容の多様化により、一般的なガイドブックでは対応できないため、専属のキャリアカウンセラーと本学教職員と共同で、本学独自の就職ガイドブックを作成することにした。

内容としては、将来の目標や自己分析から始まり、就職活動の流れ、履歴書の書き方、面接の方法、労働関係法の基礎、ビジネスマナー、一般知識等が体系的に身に付けられるようになっている。

#### (v) 積極的な情報の収集と公開

担当教職員は、他大学等の学生支援等のための公開フォーラムに積極的に参加し、他大学で取組んでいる手法との比較検討を行い本取組に還元している。また、本学が取り組んだプログラムについてホームページにより積極的な情報の公開を行い、本プログラムを国内外の大学に情報発信している。

## (2) 実施体制

学長をトップとした就職支援体制を構築することにより、進路対策委員会を中心に全教職委員だけでなく、地域の企業・団体等（ハローワーク鳥栖・ジョブカフェ佐賀・佐賀県経営者協会・NPO法人 キャリアワーク）に協力を依頼することにより、本取組の協力対象を広げ、きめ細やかな学生への就職指導が可能な体制を構築している。

学生の意識調査や動向を把握しながら、進路対策委員会の構成メンバーにより、協議検討し運営に当たる体制をとっている。

進路調査については学生係職員を中心に行い、調査

結果をデータベース化し専任教員によるアドバイザー、専属のキャリアカウンセラーと情報を共有し、学生に指導助言を行っている。

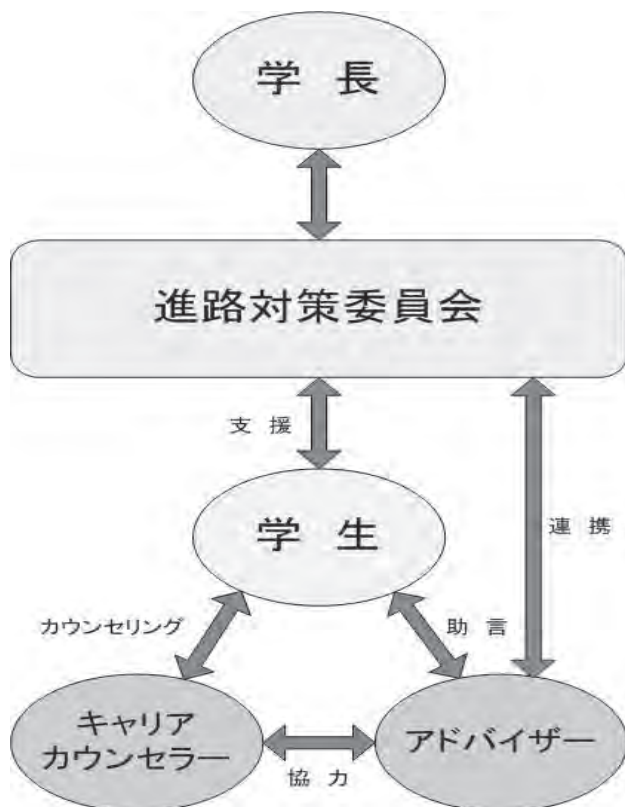


図1 学生を中心とした支援体制

## 5. 本取組の評価体制・評価方法

(1) 本学では、この取組を本学のアドバイザーからなる進路対策委員会が中心となり遂行するが、本取組の評価は、この進路対策委員会とは別の教職員数名と佐賀県経営者協会やジョブカフェ等学外の有識者からなる評価委員会を設置し、推進項目・進捗状況・取組状況の点検・評価を行い、また、実施方法を改善していく。

(2) 取組の評価方法として、以下に挙げる5つの項目について評価委員会で協議する体制を整える。

- (i) 事業内容は趣旨と合致しているか
- (ii) 事業は計画とおりに実施されているか
- (iii) 事業の有効性、効果は認められるか
- (iv) 予算の執行は、適性に行われているか
- (v) 課題と対策についての提言等

## 6. 本取組の実施計画等

本取組は、下記スケジュール（表1）のとおり遂行している。

また、特にこのスケジュールからもわかるとおりキャリアカウンセラーを学内に配置し、長期休業期間中も学生の就職相談に対応する環境を整えている。

表1 2010(平成22)年度進路支援スケジュール

月	行事・内容	
4月	就職オリエンテーション	
	進路希望調査	
	就職ガイダンス	
	既卒業生への就職指導 キャリアカウンセリング	
5月	就職ガイダンス 編入学受験説明会 面接・キャリアカウンセリング	
	就職のための講演会の開催 キャリアカウンセリング	
7月	佐賀県幼稚園連合会適格試験対策講座 講演会（保護者向け） キャリアカウンセリング	
	8月 9月	キャリアカウンセリング キャリアカウンセリング
10月	就職オリエンテーション 就職ガイダンス 活動状況調査 キャリアカウンセリング	
	11月	就職ガイダンス キャリアカウンセリング
		12月
1月	未就職者への就職活動指導 進路状況調査 卒業時「卒業生用・就職登録カード」配付 キャリアカウンセリング	
	2月	未就職者への就職活動指導 キャリアカウンセリング
		3月